

「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けて

～市民協働による持続可能なまちづくりのモデルケースとして～

秋の里山は、色づいた自然空間を散策するだけでなく、さまざまな恵みも楽しめる場所になります。里山の大切さを学びたい方や、既に活動されている内容を知りたい方、さらには、実際に活動に参加してみたい方など、さまざまな方の参加をお待ちしています。当日、少しだけ里山の恵みのプレゼントもあります。

第1回 SATOYAMA市民フォーラム

現在、市では開発が中止となった、学研木津北地区において、都市部の持続的発展に必要な自然環境を再生保全する「里山の維持再生ゾーン」の実現に向けた取り組みを進めています。

今回のフォーラムでは、学研木津北地区における地域資源(文化や自然)を評価し、多くの生きものが暮らす環境の維持向上に必要な里山保全活動について一緒に考えます。

とき：11月4日(日) 午後1時～4時30分
ところ：木津川市役所1階 住民活動スペース

内 容：

- 里山・生物多様性をテーマにした基調講演
京都学園大学教授(京都大学名誉教授) 森本 幸裕 氏
名古屋大学大学院教授 夏原 由博 氏
- 市民活動団体を交えたパネルディスカッション
- 市民活動団体との交流(午前10時～午後4時30分)



カスミサンショウウオ



カスミサンショウウオの放流

【お知らせ】 東日本大震災の復興支援の取組も紹介 (午前10時～正午)

4日の午前中は、東日本大震災の津波で被害を受けた海苔養殖に、京都の竹を使った支援に取り組んでいる市民活動団体 NPO法人京都発・竹・流域環境ネットの、取組内容の紹介や、現地で海苔養殖の復活に向け取り組む漁師の方とパネルディスカッションをおこなう予定です。

テーマ：竹が紡ぐ震災復興支援 里(山・海)を考える

内 容：竹の概要と現状をテーマにした基調講演
パネルディスカッション



学研木津北地区の竹林



福原佳代子さん

パネラーとして、宮城県東松島市で海苔養殖の復興に取り組んでいる海苔生産グループ月光の山内良祐代表や、元 JICA 職員でボランティアとして一緒に活動を行っている福原佳代子さん(市広報 10月号最終頁掲載)等が参加します。